

萌黄 (もえぎ) 通信



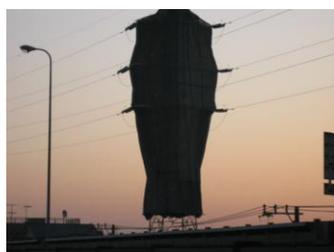
みなさん、お元気ですか？既に2月になってしまいました。早いですね(-“-)。今冬は、寒さも例年以上で、寒さのあまり、身体のお古傷が痛くなる時期です。

先日、台湾式の足つぼ(リフレクソロジー)を受けてきました。日ごろよく歩いているので、かなり強めに揉んでもらってもあまり痛みを感じなかったのですが、右のかかと部分の上部あたりが非常に痛かったので、この反射区はどこですかと聞くと、「盲腸です」と言われ、確かに20年前の盲腸の手術痕が寒い時期には痛むので、ハッキリ出るなあ実感しました。寒い時期は、特に血行が悪くなるので節々が痛くなる時期です。出来るだけ血行が良くなるようにさすったり、揉んだりして、患部の血行を良くすると、痛みが緩和するようです。特に入浴中が効果的らしいですよ。

「電圧線鉄塔も寒さ対策？」

現場に向かう中央道の調布インター当りを過ぎると右側

なんかフワフワと風になびく物体が見えてきます。気になりましたので、運転中にパチリと収めました。恐らく鉄塔の塗装かなんかでしょうが、大きな外套をまとっているようですね。異様に目立っていました。



「オフィスビル外構タイルの防滑処理」

あるオフィスビルの外構に磁器タイルが敷いてあるのですが、少し傾斜のある部分で雨天の日に滑る人が多いようで、防滑処理施工の依頼が来ました。

まずは、防滑処理部分の下地洗浄を行います。汚れが厚く付着している所では、洗浄をきっちりすれば、かなり滑りになることもあるようですが、今回は、洗浄後の水分を十分にバキューム回収してから、防滑剤を塗布していきます。エントランス部分なので、転倒事故を防ぐ必要があり、かなりキツめに防滑性を高めるよう、5分間放置をしました。一般的に、防滑処理で、ムラが出る仕上がりになることが多いようですが、これは、一度塗ったきりでそのまま放置してしまうことから起こる現象です。5分の放置の場合は、5分間

乾きムラが出ない様に繰り返し塗布作業を行います。最後に、薬剤を回収し十分なすすぎ洗いをして完了します。



1. 防滑対象部分の下地洗浄



2. 防滑剤塗布



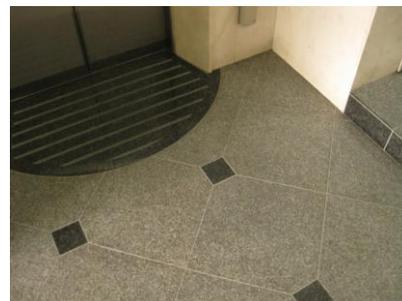
3. 5分間繰り返し塗布施工



4. 中和後十分にすすぎ洗い

「エレベーターホールの嘔吐シミ」

ビルのエレベーターホールの黒御影石床に、嘔吐シミが出来てしまっています。嘔吐物は、油や胃酸など酸性物質が含まれているので、1種類の洗剤だけでは抜けにくく、アルカリ洗剤や、シミ抜き剤を使用して抜いていきます。可能な場合は、湿布まで行くとかなり綺麗に抜けてきます。



(編集後記) 先月、4～5年ぶりに、同業者仲間と新年会をしました。この厳しい中、皆さん頑張っています。石材メンテだけでなく、建築関係-石貼り、リフォーム-や、清掃部門にも展開し乗りきっています。皆タフです、ホント。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp